

ともしび通信

発行：NPO法人没イ手の会・京都



みんなでお歌おう!

秋の青空に

萩の花がよく似合います!



結婚生活パート1

私のプロポーズに洋子さんはかすかに涙ぐんでうなずいてくれました。OKと言うことですね。私は飛び上がるほど嬉しくて、この人が私の一生の伴侶かと思うと運命めいたものを感じ「ありがとう!」と叫んでいたと同時に、不思議な、新しい世界が開けていくのを感じていました。

さあ!結婚となると色々準備しなければならぬことばかりで、まず住むところは?仕事は?生活費は?結婚式は?これ全て用意ができていませんでしたので、これから考えることになりました。若さゆえとはいえあまりにも私は無責任な男でした。まず私はママに相談することにしました。貯金

0円の私はママがよく理解していましたので「あなた、少しは考えてからプロポーズすべきではないの、彼女がかわいそう」と叱られました。ママは「スタートらしいことは私に任せなさい」と言いつて、「まず結婚披露宴だけをして、式は二人で貯金をして出来るときにしなさい。披露宴は私の料亭で然るべき人を招待して開けばいいから」と言いつて頂き、すべてママに任せることにしました。

住む所は今のアパートを友達に出でいって貰って住むことにしました。友達二人からひどいやつだと言われましたが、勘弁してもらって6畳一間の部屋が新婚のスタートの家になりました。

台所は付いていますが、風呂は銭湯、トイレは共同

です。狭いながらも楽しい我が家です。洋子さんと二人なら楽しい日々が送れると、有頂天の私でした。

朝、私は十一時まで寝ていましたが、洋子さんは出勤が十一時だったので、十時に家を出て新宿まで通勤するという、朝は別々の新婚生活が始まりました。

結婚披露宴は、日曜日にママがホステスさん5人、お客様3人、私の友達2人、洋子さんの勤務先の社長さん1人、お姉さん夫婦の2人と、合計私達を含め十六名で披露宴を催していただきました。ささやかですが温かい披露宴になりました。私は感激しました。後は結婚式をいつ出来るかでしたが、あては今の所ありません。貯金をしてするつもりでした。ママのお客様で富士ファイルムの常務さん、丸紅の専務さん、間組の常務(ママのパトロン)が集まって頂き、すべての

費用はママ持ちで私達は0円の披露宴でした。有り難いことです。

こうして無事披露も終わりました。新しい新婚生活、楽しいことが一杯と胸膨らませ小岩のアパートに帰りました。まさかこの後に苦しいことが待っていたとは二人共いえ誰もが思ってもいませんでした。

新婚生活2ヶ月ほど過ぎた頃、洋子(この頃からこう呼んでいました)が咳き込むようになり、初めは風邪かと医者に見せましたが、風邪ではなく、喘息だといわれびっくりしました。東京の汚い空気に洋子の肺は侵されていたのです。咳がだんだんひどくなり、特に夜布団に入り温まってくるとそれが余計ひどくなり、ついに「ヒューヒュー」と喉が鳴り出し息をするのも苦しそうです、これはいかんと救急車を呼んで医者駆け込み

ました。病院では注射をするという楽になり「ヒューヒュー」言わなくなりま

す。

こんなことが度々起きてついに洋子は勤めを辞めることになり、家で静養することになりました。今の私の給料では家賃を払い、食べていくのに精一杯。今まで洋子の給料を貯金にとしてきたのですが、それも毎月医者代に消えていきました。

悪いことは重なるもので、お店にお客さんが少なくなり、やっつけいけなくなり、閉店することになったのです。洋子の病気と私の失業、いっぺんに襲ってきた、私は友達の山崎くんに相談しました。

ちやうど彼も転職を考えていたところで、私の話を聞いて「籠さん、小田原に行かないか?」と誘って来ました。「小田原?いきなりなんで小田原?」「小田原のキャバレーでマネ

「ジャーをしてくれないかと
の話があるんだよ、良かったら
洋子さんの静養のためにも小
田原に行ってみないか？」

いきなりの小田原に私はび
つくりすると同時に、洋子の
ためにも空気のきれいな田舎
の方がいいのかなあと、考え始
めていました。・・・次回、小
田原に行くのか。

籠谷 弘 24歳の秋です。

歌声喫茶に参加してみよう！

友人に声掛け頂き入会させ
て頂くことになり、大変嬉し
く思っております。力一杯声
を出す生活からは数十年縁遠
く、声の衰えも感じておりま
したので、少しでも若返りを
期待しております。

皆さんと一緒に歌っている
と、その歌を歌った当時のこ
となど思い出されて懐かし
く、その頃に帰った気分にな
ります。

意外にストレス解消になる
こと肩がほぐれる感じを受け
ました。皆様の輪に参加し、
人との絆も期待しながら楽し
みにしております。

西村津子



早や9月を迎えましたが、この
度は市役所の方が二人見学に
来られ、20分余り一緒に歌声に
加されました。

検温、手の消毒、窓を開け、机、
椅子の配置を考えるなど、密にな
らないよう準備して、皆さんをお
迎えました。

7月再開から8月もお元気の
籠谷さんですが、かねてからの
査の結果、病院の日程もあり、一

週間程の入院となりました。

皆さんで快復を願いながら、
「思い出の中ですか」を阿部先生
のご指導と盛永先生の流れるよ
うな伴奏で、心にしみるように歌
えるようになりました。

きっと、思い出の中の奥さまも
優しく見守って下さっている事
と感じました。

光木さんの楽しいお話も交え、
皆さんのリクエストも楽しみな
ました。(9月3日)

石田禎子



歌声喫茶 11月の予定

「西院」(第2、4木曜日)

11月12日、26日

「洛西」(第1、3木曜日)

11月 5日、19日

楽々亭 第4回10月の予定

10月31日(土)

西京区役所洛西支所会議室

1時30分～3時30分



ともしび通信

発行元：NPO 法人没イチの会・京都

住所：京都市西京区大原野東境谷町一丁目1番地4-701

TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328

MAIL：kago@botuichi.com

●ともしび通信では、皆様の投稿を募集して
おります。身の回りの出来事や体験談など、何
でも結構です。楽しかったこと、つらい想いを
したことなど、様々な胸の内を皆様と共有して
行きたいと考えております。